

3. 養殖技術経営指導

I 調査目的

淡水魚の養殖技術，経営，調理について指導し，県内における淡水魚増養殖の振興を図る。

II 調査内容

1. 養魚用水々質分析

(1) 場 所 三沢市（養鰻用ボーリング水）

(2) 採 水 月 日 昭和52年 4 月 4 日

(3) 分 析 結 果

水 温	14.5℃	カドミウム	ND ppm
P H	8.6	銅	0.002
溶存酸素	11.3 ppm	鉄	0.276
同飽和度	114.5%	マンガン	ND
C O D	2.0 ppm	鉛	0.029
		亜鉛	0.01
		全水銀	ND

(4) 判 定 養魚用水として使用可能である。

2. 養魚用水々質分析

(1) 場 所 相坂養魚場テストボーリング

(2) 採 水 月 日 昭和52年 7 月 28 日

(3) 分 析 結 果

水 温	12.1℃	鉄	0.053 ppm
P H	7.8	銅	0.001
溶存酸素	0.04 ppm	鉛	0.035
B O D	0.7 ppm	亜鉛	0.023
濁 度	1.39 ppm	カドミウム	ND
硫化物	ND	マンガン	ND
		全水銀	ND

(4) 判 定 溶存酸素が少ないので，十分曝気すれば使用可能である。

3. ふ化場用水々質調査

(1) 場 所 市浦村（前潟，セバト，明神沼の表流水）

(2) 採 水 月 日 昭和52年10月10日

(3) 分 析 結 果

調査点	水温	DO ppm	DO %	COD ppm	SS ppm	P H
前 潟	4. 4	11. 56	92. 0	<u>2. 75</u>	<u>17. 5</u>	6. 98
セバト	2. 9	11. 24	85. 9	<u>2. 44</u>	<u>1. 5</u>	6. 53
明神沼	4. 5	8. 98	71. 6	<u>2. 15</u>	<u>4. 2</u>	<u>6. 30</u>

アンダーラインはふ化用水として不適

(4) 判 定

前 潟：強風により底の泥が浮上し，SSが高くなる。また3調査点のうちCODが最も高い。

セバト：SSが比較的低い。

明神沼：DOが少なく，PHも低い。水草の腐植化によるものであろう。

以上を総合的に見ると何れもふ化用水として適当とはいえず，あえて用水として使用するならば，SSが低いセバトを利用するしかない。その場合曝気によるDOの補給と砂ろ過によるSS除去の操作が必要である。

4. コイ料理講習会

中津軽郡岩木町公民館と共催の形で実施したもので，使用原料の一部を黒石養魚場から提供した。

(1) 開催期日および場所

昭和52年 8 月23日 津軽中学校調理実習室

(2) 参 加 人 員

公民館所属婦人学級員 65 名

(3) 指 導 内 容

- 淡水魚流通の現状と消費拡大の方策
- コイ料理実習（講師 弘前市 菅 省二氏）
活づくり，洗い，甘露煮，コイこく，丸揚げ
- 淡水魚の栄養価について